

(様式2)

指定管理者制度導入施設の管理運営状況【対象年度:令和7年度】

※1～6:所管課記入、7:指定管理者記入、8～9:指定管理者及び所管課記入、10:指定管理者及び所管課記入(実施した場合)

所管部・課	環境部自然保護課
指定管理者	一般社団法人諏訪観光協会

1 施設名等

施設名	長野県霧ヶ峰自然保護センター	住所	長野県諏訪市四賀霧ヶ峰7718-9
		電話	0266-52-2111
		ホームページ	https://www.kirigamine-vc.jp/

2 施設の概要

設置年月	昭和・平成・令和48年8月	根拠条例等	長野県自然公園施設条例、長野県自然公園施設管理規則
設置目的	自然公園法(昭和32年法律第161号)第2条第1号に規定する自然公園の保護及び適正な利用を推進し、並びに自然体験活動の機会を提供する		
施設内容	展示ホール、交流スペース 展望デッキ、眺望テラス 案内カウンター		
利用料金	入場料無料、団体プログラム(15分無料)、出前講座(無料)、ガイドウォーク(一人500円)、ナイトウォーク(一人1,000円)、スノーシュー(一人2,000円)、スタンプラリー(一人200円)		
開所日	令和7年4月15日から令和7年11月15日まで(休館日:毎水曜日(祝日の場合は翌木曜日))、7・8月は無休)		
開所時間	午前9時から午後4時まで		

3 現指定管理者前の管理運営状況

期 間	管 理 形 態	管理受託者又は指定管理者等
～令和3年度	直営・管理委託・指定管理・その他()	
平成 年度～ 年度	直営・管理委託・指定管理・その他()	

4 報告年度の指定管理者等

指定管理者	一般社団法人諏訪観光協会	指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)
選定方法	(公募(応募者数:1))・非公募(随意指定)		

5 指定管理料(決算ベース)

令和7年度(A)	令和6年度(B)	差(A)-(B)	※(A):当該年度、(B):前年度(以下同じ)
11,826 千円	11,902 千円	-76 千円	
		増減理由	全国的な人件費上昇を受け、令和7年度は追加措置として375千円増額。また、令和6年度は大型モニターが故障したため、修繕費451千円を要した。(基本協定書第7条及び第9条に基づき、県と指定管理者で協議の上、30万円以上の修繕費用は県負担とした。)

6 指定管理者が行う業務

・施設及び設備の維持管理に関する業務
・自然公園の保護及び適正な利用並びに自然体験活動の機会の提供に資する事業の企画及び実施に関する業務
・上記に付帯する業務

7 利用実績等

(1)利用実績【指標:利用者数・利用件数・稼働率】

(単位:人、件、%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和7年度(A)	621	1,638	2,400	6,144	5,259	2,375	1,713	550					20,700
令和6年度(B)	633	1,693	1,484	5,111	4,075	1,869	1,574	585					17,024
(A)/(B)	98.1	96.8	161.7	120.2	129.1	127.1	108.8	94.0	-	-	-	-	121.6
増減要因等	夏の猛暑のため避暑地としての需要が高かった他、大阪関西万博や観光地でインバウンドによる混雑を避けるため、霧ヶ峰を訪問先の一つとして選んだことが増加の一因と考えられます。												

(2)利用料金収入

(単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和7年度(A)		4.4	29.4	26.4	50.2	58.8	99.6	15.7	0	0.3	4.0	10.0	299
令和6年度(B)			5.4	4.4	24.8	42.0	0.0	6.0	0.2	0.2	38.0	0.0	121
(A)/(B)	-	-	544.4	600.0	202.4	140.0	-	261.7	0.0	150.0	10.5	-	246.9
増減要因等	新規・自主事業としてオリジナルカップセルトイ「霧ヶ峰いきもの缶バッジ」の販売をスタートいたしました。												

(様式2)

(3) 利用料金見直しの状況(前年度と比べて)

見直しの有無	見直した場合はその内容
有・無	

(4) 開所日・時間の見直し等の状況(前年度と比べて)

開所日数	開所時間	見直しの有無	見直した場合はその内容
令和7年度(A):193日	令和7年度(A):9:00~16:00	有・無	
令和6年度(B):193日	令和6年度(B):9:00~16:00		

(5) サービス向上のため実施した内容

霧ヶ峰の生きものをデザインした缶バッジが入ったオリジナルカプセルトイを1個200円で販売をしました。売上金の一部を霧ヶ峰の自然環境保全のために寄付することで、来訪者がカプセルトイの購入を通じて霧ヶ峰の豊かな自然の維持に貢献することができました。 「霧ヶ峰の土産が欲しい」「自然環境のために寄付したい」という来館者からの声を受けて企画したもので、缶バッジには霧ヶ峰の動物、鳥、植物(全6種類)とシークレット(1種類)のデザインがあり、それぞれの生きものの解説も付けた。子どもから大人まで楽しまれ、来館者とのコミュニケーションにもつながりました。
--

(6) その他実施した取組内容

アンケート結果をもとに、より効果的に情報を届けるための拠点として JR新宿駅南口構内(中央線ホームのアクセスエスカレーター前)に「霧ヶ峰高原(ニッコウキスゲ)」のサインボードを設置しました。この場所は多くの人が行き交うため、霧ヶ峰高原の魅力を強く印象づけることができ、関東圏からの来訪者数が大きく増加しました。さらに、観光協会が得意とする業界ネットワークや広告媒体を活用することで、霧ヶ峰高原の魅力を多くの人に届ける取り組みを進めました。

(7) 利用者の主な声及びその対応状況

利用者アンケートでは148件の貴重なご意見をいただきました。展示内容や職員の対応について多くの高い評価を頂戴し、職員にとって大きな励みとなっています。一方で、展示物(剥製)の劣化など改善を求める声もあり、これらは年次計画に沿って順次更新を進めています。また、「土産が欲しい」というご要望に応えるため、本年度からカプセルトイ缶バッジや黒曜石グッズの販売を開始しました。

8 管理運営状況(実施状況及びそれに対する評価を記入)

※項目は施設の状況に応じ加除修正してください。

項目	指定管理者	所管課	評価
施設の目的に沿った管理運営	協定書、仕様書及び事業計画書に基づき、施設の設置目的に沿った管理運営を実施しています。	協定書、仕様書及び事業計画書に基づき、施設の設置目的に沿った管理運営がされたものと認められる。	B
平等な利用の確保	すべての利用者(インバウンド含)に対して、親切かつ丁寧な対応を徹底いたしました。誰もが公平かつ平等に、そして快適に利用できる環境の実現に取り組んでおります。	すべての利用者に対し親切・丁寧な案内を心掛け、平等な利用が確保できたと認められる。	A
利用者サービス向上の取組	職員は、利用者への積極的な声かけを通じて満足度の向上に尽力するとともに、積極的な情報発信を行うことで、サービスの質のさらなる向上を図りました。	アンケート結果から展示内容及び職員の対応への満足度が高かったと認められる。SNSにより現地の開花状況や交通状況等の情報発信を積極的に取り組んだと認められる。	A
自主事業	ガイドウォーク等既存の体験プログラムの充実に加えて、センターオリジナルのカプセルトイ缶バッジを作成・販売を実施いたしました。	既存の体験プログラムの充実に加えて、利用者の要望に応えたオリジナルのカプセルトイ缶バッジの作成・販売を開始し、積極的に自主事業に取り組んだと認められる。	A
職員・管理体制	円滑な管理体制の確立に向けて、定期的な面談を実施するとともに、県と連携し、業務マニュアルの見直しを行いました。組織運営をより効果的にするため、実践的な改善に努めております。	指定管理者、センター職員及び県の3者でも面談を実施し、管理体制等の共有及び意見交換をすることができた。併せて業務マニュアルの見直しにより、職員の業務管理の向上につながったと認められる。	A
収支状況	昨年の県監査員からの指摘を踏まえ、配賦などの対応について予算を組み換え実施しました。その他の事項につきましては、概ね計画どおりに進捗いたしました。	概ね計画どおりの運営が行われていると認められる。	B
総合評価	上記、各項目にわたる着実な改善を積み重ね、計画的かつ的確な運営を行うことで、よりよい管理運営を実現いたしました。	定期的な職員面談や業務マニュアルの見直しが行われ、職員の管理体制も適正であった。また、積極的な情報発信及び自主事業が拡充されており、サービス向上のための優れた運営ができたと認められる。	A

＜評価区分＞ A:仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
B:おおむね仕様書等の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われている。
C:仕様書等の内容を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要である。
D:仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項が認められ改善を要する。

(様式2)

9 施設管理運営の課題

項 目	指 定 管 理 者	所 管 課
施設の管理運営の課題	施設では老朽化が進んでおり、特に 水道の埋設管が劣化しているため、早急な対応が必要となっています。また、国定公園内での自然保護や生物多様性の維持、環境保全活動をさらに充実させるためには、県との強い連携と継続的な指導が欠かせません。そのため、今後も県と協力しながら、施設の運営と自然環境の保全に取り組んでいきます。	一部施設の老朽化が見られるため、必要に応じて適宜修繕等を実施する必要がある。以前から自然保護活動やその情報発信に力を入れてきたが、今後より一層の充実を図るため、指定管理者との連携を継続していく。

10 第三者評価で指摘された事項の管理運営等への反映状況(第三者評価実施年度の翌年度以降に記載)

【実施年月日:令和6年10月28日】

第三者評価における指摘・意見等	管理運営等への反映状況	
	指定管理者	所管課
貴重な資料や文献を閲覧できる量のスペースは魅力の1つ。しっかりアピールすべき。	畳スペースをより快適にご利用いただけるよう、資料や文献の配置を見直すとともに、新たに案内看板を設置いたしました。これにより利便性の向上を図り、あわせてホームページの更新も行いました。	畳スペースの活用及び資料や文献の充実を図り、多くの利用者に足を運んでいただけるような取組を引き続きお願いしたい。
当施設への道中の案内看板が少ない印象。	当施設への道路案内看板につきましては、県へ相談を行っております。	案内看板は、景観維持等の問題も考慮し、検討していく。
3箇所のセンター(霧ヶ峰、車山、八島)を広域的に利用できるとよい。	他施設の体制が整い次第、広域連携を模索してまいります。	センターとの連携について引き続き検討をお願いしたい。
せっかく素晴らしい施設なので、諏訪、上田、岡谷地区の小中学生に施設の利用を促すよう取り組みたい。	引き続き、訪問先として選んでいただけるよう努めてまいります。	小中学生を含め多くの方に足を運んでいただけるような取組や広報を指定管理者と連携しながら行っていく。
人力的な問題があるため難しいかもしれないが、自主事業を増やすことも考えても良いのでは。	利用者のニーズ等を分析し、満足度の高い自主事業の検討を進めております。なお、こうしたニーズに基づき、令和7年度よりカプセルトイレパッチの販売を開始いたしました。	限られた職員体制ではあるが、既存の自主事業の拡充や新たな自主事業の導入に向けた取組の継続をお願いしたい。
地元の人間が施設のことをあまり知らない。小中学生の学習先としてもっと売り込むべき。	教育委員会と連携し、「すわ未来創造子どもプロジェクト」に参画しており、イベントを通じて広く周知を図り、より多くの方々に当施設の魅力をお伝えしてまいります。	教育委員会等との連携や効果的な情報発信を引き続きお願いしたい。
ボランティア活動とセンター業務の整理が必要。	引き続き、関係者間での調整を進めてまいります。	ボランティア活動とセンター業務を明確にしなが、一層のサービス向上に努められたい。
出退勤管理が甘い。タイムカードの導入など客観的に管理できる仕組みを導入されたい。	令和6年12月9日にタイムレコーダーを購入し、職員の出退勤管理を整えました。	労務コンプライアンスの向上を図り、労働時間の管理に努められたい。
雑費の内容のほとんどが公告費なので、「広告宣伝費」を項目立てして説明する方がわかりやすい。	令和7年度予算費目に「広告宣伝費」を新設いたしました。	引き続き明瞭な収支状況の整理をお願いしたい。